

# 伝統芸能から人間ドラマを楽しむ 特別短期講座

テーマ : 第3回 歌舞伎『勸進帳』～主君・忠義

日時 : 2023年6月14日 9:45~11:45

講師 : 北見 真智子 先生 (大阪音楽大学講師・音楽学)



## 歌舞伎とは・・・ およそ400年の歴史

### 江戸時代の庶民文化のもとに成立した演劇

- せりふ、三味線を中心とした音楽や舞踊と一体となった演劇
- 男性が女性を演じる女形の存在
- 客席の中を通る花道や廻り舞台
- 派手な隈取模様の化粧
- 六方や見得などの独特の動き
- 親から子へ芸を受け継ぐ歌舞伎役者の家制度
- 能・人形浄瑠璃とともに日本の三大古典劇



## 歌舞伎小史

### 1) 歌舞伎の誕生

歌舞伎の語源=「傾(かぶ)く」

出雲のお国の登場=「ややこ踊り」をやる一座

### 2) 元禄期・・・歌舞伎の第一ブーム

江戸—初世市川團十郎が始めた「荒事」

上方—初世坂田藤十郎を代表とする「和事」

### 3) 沈滞期—人形浄瑠璃との交流

大坂で人形浄瑠璃に圧倒された時代

### 4) 18世紀後半・・・第二ブーム

女方が独占していた所作事を立役も演じる劇舞踊

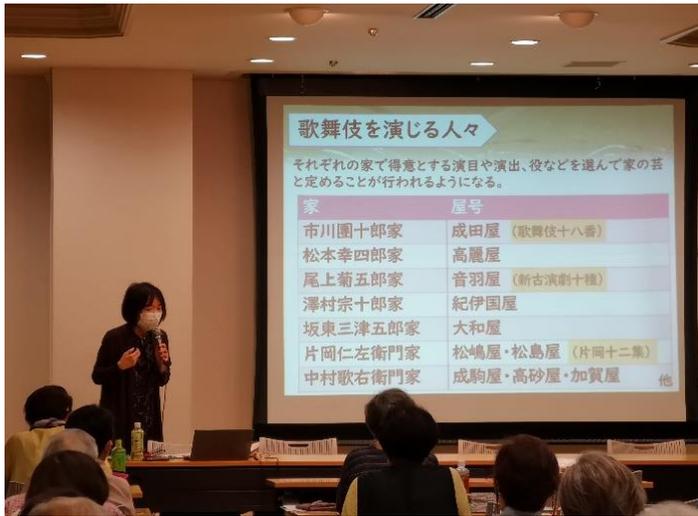
### 5) 文化・文政期・・・爛熟の時代

歌舞伎作者四世 鶴屋南北の活躍

残酷、非情、狂気、怨念、濃厚な濡れ場、血なまぐさい場面、早変わりや宙乗りなど、刺激的な舞台を創出

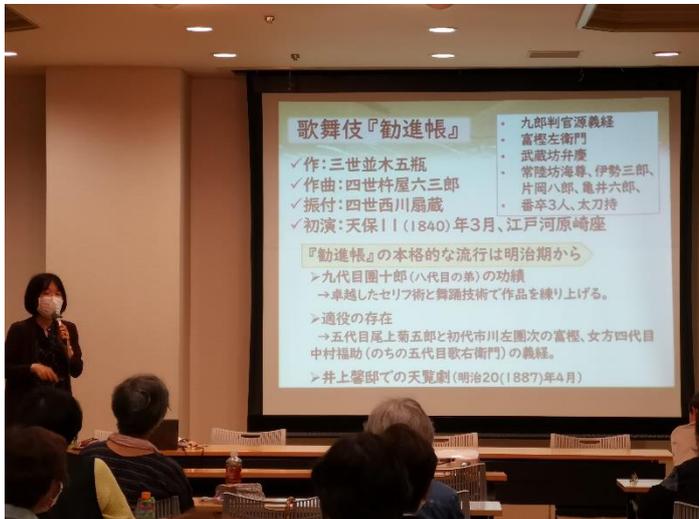
### 6) 幕末・・・江戸歌舞伎の最後

### 7) 明治以降・・・近代化の道



## 歌舞伎を演じる人々

市川團十郎家	成田屋 (歌舞伎十八番)
松本幸四郎家	高麗屋
尾上菊五郎家	音羽屋 (新古演劇十種)
澤村宗十郎家	紀伊国屋
坂東三津五郎家	大和屋
片岡仁左衛門家	松嶋屋・松島屋 (片岡十二集)
中村歌右衛門家	成駒屋・高砂屋・加賀屋



## 歌舞伎『勸進帳』

作: 三世並木五瓶  
 作曲: 四世杵屋六三郎  
 振付: 四世西川扇蔵  
 初演: 天保11(1840)年3月、江戸河原座

## 『勸進帳』あらすじ

### ○主な登場人物

武蔵坊弁慶・源義経・富樫左衛門・亀井六郎・片岡八郎・駿河次郎・常陸坊海尊

### ○あらすじ

兄の源頼朝から陰謀の疑いをかけられ追われる身となった源義経一山伏姿に変装し、温州藤原氏を頼って落ち延びようとしている

安宅の関(あたかのせき)の関守・富樫左衛門は山伏なら持っているはずの勸進帳(東大寺再建のための寄付を募った巻物)を読むように命じるが、武蔵坊弁慶の機略と苦衷、「強力」が義経に似ているという富樫左衛門に対し、「お前のせいで疑われた」と怒り叩いて、切り合いになっても義経に危害が及ぶのを必死で防ごうとする弁慶の忠義の心に打たれ、無事関を通過し、奥州平泉をめざす

### ○ドラマの構成

前半(緊迫したクライマックス)

第一段の富樫の名乗り~第十九段の幕切れ



授業風景



## 午後のクラス活動

**文楽鑑賞教室** 解説と名作で「わかる」文楽の世界

五條橋 = 牛若丸 (源義経) と武蔵坊弁慶との出会い

文楽へようこそ (解説) = 技芸員による実演を交えた解説

太夫・三味線弾き・人形遣いの三業の一体

仮名手本忠臣蔵を鑑賞 = 浅野内匠頭と吉良上野介義成を討った  
赤穂事件を題材

主君の無念の気持ちが家臣に受け継がれる場面を中心に



(国立文楽劇場)



(担当: 千種)